



平成30年度実施「元気創造まちづくり事業」公開

プレゼンテーション/ヒアリングを実施しました！

9月30日(土)10時から平成30年度実施の「元気創造まちづくり事業」公開プレゼンテーションをコミセン大宝東で行いました。今年は4団体の応募があり、限られた時間の中でできるだけ審査員にわかりやすく伝えようと、プロジェクターやパネルを使いながら工夫を凝らした発表をされました。



審査委員長講評(一部抜粋)

今年度は継続の団体ばかりでしたが、毎年プレゼンをされていると「なぜ何度もしなくてはいけないのか？」という素朴な疑問が、おそらく浮かんでくるのではないのでしょうか？しかし、プレゼンには大事な意味がありまして、市民の皆さんから託された税をどう使うかが冷静に判断し、市民のみなさんに納得していただくというお金の面がひとつ。もうひとつは、適正なプロセスを経て市が認めた活動、審査に通った活動だと誇りをもって言ってもらえ、そして市民のみなさんにそのことを広く知ってもらおうという狙いがあります。

それぞれ、細かな事業の問題、組織の問題はありますし、団体によっては、今現状の分析はよくできていても、活動継続によって栗東市がどう変わっていくのか未来図を十分に描けていないところもありました。しかし、全体的には大変良くできていたと思います。パワーポイントや映像を使いながら、活動にそれほど詳しくない私たちにも分かりやすく伝えようと工夫されていましたし、時間も守るよう努力されていました。

ただ、質疑応答の際に回答が長い団体がいくつかあったことは残念に思いました。質疑応答の時間が長いので答える側としてはついたくさん話したくなってしまうと思いますが、同時に審査員側もいろいろ質問したいと思っています。また、質問がたくさん出ることで新しい意見も出てきますし、自分たちの活動のヒントが得られたり、結果的にアピールに繋がることもあります。質問に対する答えは必要最小限がお得です。是非みなさんには質問に明瞭簡潔に答えられるようトレーニングを積んでいただき、更にステップアップしていただきたいと思います。

10月 元気創造まちづくり事業

ハーベストイン走井 / ハーベストイン走井実行委員会

琵琶湖を一望する山頂にたたずむ16軒の小さな集落走井。竹林や樹木が茂り、清流が流れる静かな里山では、四季折々の農産物が育てられ、棚田から見下ろす景色は訪れる人々に癒しを運んでいます。そんな絶好のローケーションの中、10月9日(祝)に音と食の収穫祭「ハーベストイン走井」が開催されました。昨年度まで会場だった場所は駐車エリアとなり、アクセスも向上。駐車エリア付近に開拓された新しい会場では、地元で採れた葡萄やイチジクなどのほか、評判のたこ焼き屋さんやカレー屋さんなど個性豊かなお店が並び賑わいを見せていました。また、音楽ブースには、ひまわりをあしらったかわいいアレンジメントとドネーション(募金)箱が。アーティストたちが奏でる、民俗楽器の素朴な音色が空に吸い込まれ、心地よい時を刻んでいました。

